

阪妻が、アラカンが、千恵蔵が、 活動弁士・井上陽一の語りで鮮やかに蘇る！



作品解説

2016年 / 46分
監督：高橋一郎
製作・企画：精久森典妙
撮影：原ひろし

無声映画に、情景や心理描写などのナレーションや登場人物のセリフをつけて語る「活動弁士」。高砂市在住の井上陽一さんは、関西で唯一の現役活動弁士です。戦後すぐ、焼け野原に建ったバラック造りの映画館に小遣いを貯めて通い詰め、毎日映画を観たいがために映写技師の資格を取得。そしてある日観に行った上映会で、戦前から活躍し関西を代表する活動弁士・浜星波さんの語りに出会います。「トーキーよりも迫力がある」とたちまち魅せられ、弟子入りを志願。1979年に独立し、これまでの公演は約550回にも及びます。井上さんの語りは関西独特の七五調で、女性や子どもまで声色を使い分け、場面に応じた音楽も自分でカセットを操り伴奏を付けます。そんな井上さんの人生と活弁の魅力に迫ったドキュメンタリー映画は、古い世代には懐かしく、若い世代には映画の新たな楽しみを伝えてくれます。



井上陽一

1938年姫路市生まれ、高砂市在住。故・浜星波に師事。1960年から活動弁士として活動し、1979年に法務大臣賞受賞。2002年OSAKA映像フェスティバルにて阪東妻三郎の『雄呂血』、2004年東京国際映画祭にて田中絹代の『伊豆の踊り子』、2006年京都国際映画祭にて入江たか子の『滝の白糸』など、各地の映画祭などで活躍する関西唯一の現役活動弁士。

★イベント上映

1月7日(土)本編上映後、
井上陽一さん活弁ライブ開催！

演目『血煙り荒神山』

1929年 / 監督：辻吉郎 / 主演：大河内傳次郎



【上映スケジュール】

◎1/7(土) 10:30～ ◎1/8(日)～1/13(金) 11:00～

【料金】

一律1,000円 ※1/7のみ一律1,500円

元町映画館

元町商店街4丁目浜側
078(366)2636
www.motoei.com

